

国立音楽大学 打楽器専攻生による 打楽器アンサンブルの世界

国立音楽大学打楽器アンサンブル
写真提供：国立音楽大学

ささやくような繊細さ
炸裂するダイナミズム

2017年3月29日(水)
18:30開場 19:00開演

くにたち市民芸術小ホールホール (270席)

(〒186-0003 国立市富士見台2丁目48-1 TEL.042-574-1515)

演奏曲 ※演奏順ではありません。

～打楽器アンサンブル ヴァレーズから西村 朗まで～
エドガー・ヴァレーズ：

13人の打楽器奏者のための「イオニザシオン」
ヤニス・クセナキス：3組のジャンベのための「オコ」
アレクサンドル・ポロディン：

弦楽四重奏第2番より「ノクターン」
西村 朗：6人の打楽器奏者のための「ケチャ」

～打楽器アンサンブル 打楽器奏者が作曲した定番曲～
吉岡 孝悦：4台のマリンバのための「スクエアダンス」
エマニュエル・セジオルネ：

8人の打楽器奏者のための「ソッソ-バラ」
マーク・フォード：「ヘッド・トーク」(打楽器五重奏)
トーマス・ゴージャー：5人の打楽器奏者のための「ゲインズボロー」

※プログラムは予告なく、変更される場合があります。

全自由席 一般1,000円 学生700円
チケット取り扱い

くにたち市民芸術小ホール TEL.042-574-1515 (9:00-20:00)

カンフェティ <http://confetti-web.com/> TEL.0120-240-540
(10:00～18:00)

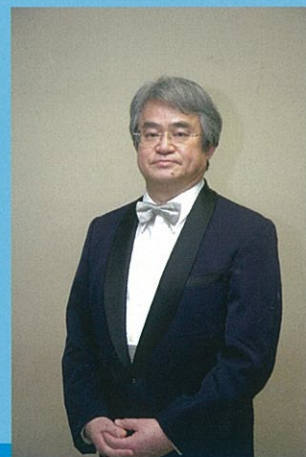


出演：国立音楽大学打楽器アンサンブル

国立音楽大学打楽器専攻生による打楽器アンサンブル。
1970年に第1回定期演奏会を開催、以後毎年、回を重ね、本年で48回を迎える。現在、日本で恒常的に活動している打楽器アンサンブルの中では、最も古い歴史を持つ。本学打楽器科教授の福田隆氏と講師の植松透氏の指導のもと、打楽器アンサンブルの古典から難解な現代曲まで幅広く取り組み、打楽器による表現の可能性を日々探求している。

指揮・監督：福田隆 (国立音楽大学教授)

熊本県出身。東京芸術大学音楽学部器楽科打楽器専攻卒業、同大学院修了。在学中からパーカッショングループ72のメンバーとして打楽器音楽の委嘱、新作の初演等、普及に努める。2007年より、国立音楽大学打楽器アンサンブルの音楽監督を務める。

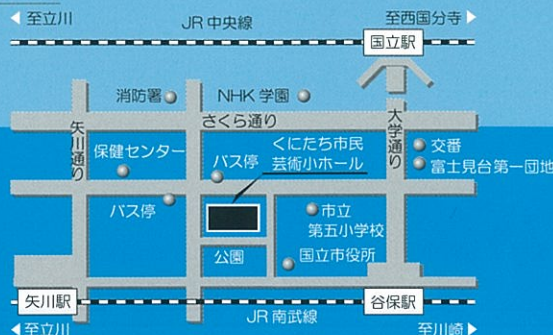


福田隆

Access

くにたち市民芸術小ホールまでの行き方

〒186-0003 国立市富士見台2-48-1
TEL 042-574-1515



※JR 国立駅南口バス乗場：4番

矢川駅、国立操車場又は国立泉園地行き
「市民芸術小ホール・総合体育館前」下車

※JR 矢川駅から徒歩 10分

※JR 谷保駅から徒歩 10分

主催：公益財団法人くにたち文化・
スポーツ振興財団

協力：国立音楽大学